
新発田市長選挙

投票日は

11月18日(日)です

午前7時から
午後8時まで

みんなで投票しましょう

この選挙公報は、候補者から提出された原稿を、そのまま写真製版により、縮小して印刷したものです。

新発田市長候補

二階堂かおる



経験と人脈を生かして、実現します。

目標

住みよいまち日本一
健康田園文化都市しばた

四つの柱

仕事と収入を増やします。
子育て支援をさらに強化、
教育を充実させます。
「健康・長寿」の新発田にします。

具体策

◎産業振興(観光と農産物輸出促進)

- ①新発田の食・温泉・文化を中心に、近隣市町村と阿賀北広域観光圏をつくり、外国人観光客を倍増させ、経済を活性化します。
- ②農産物の輸出促進を加速させます。
- ③歴史ある町並み家庭庭園を観光に活用します。

◎子育て支援(子育てするなら新発田)

- ①保育料完全無料化、医療費補助を高校生まで拡充、さらに放課後児童クラブ無料化を自己指します。
- ②病児・病後児保育施設増設、延長保育無料化、さらに母子父子ひとりで親家庭の支援を強化します。

◎教育の充実(楽しく学べる環境づくり)

- ①こどもと教員がじっくり向き合える学校・学習環境を整備します。
- ②スクールソーシャルワーカーを増員し、さらに部活専門指導員制度導入を検討します。
- ③すべての小中学校にエアコンを導入します。
- ④ふるさとに誇りがもてる教育を推進します。

◎健康の増進(地域で暮らせるまち)

- ①「健康・長寿づくり」を加速させます。
- ②地域別に循環方式や予約方式を組み合わせ、地域公共交通網を整備します。
- ③障がい者が輝くパラスポーツ・アート活動を支援します。

世代交代で新発田の無限の可能性を引き出す! 市民と共に進める 共生未来都市 新発田

政治一筋12年!! 小林誠はこれを実行します!

(国会議員秘書9年・新発田市議会議員)



子育て・教育

子どもたちの未来のために

学童保育の無償化。父親支援の推進。
子どもたちを社会全体で育む環境整備を目指します。

- しばたイクボス宣言で「父親の育児・家事参画」「母親の育児負担軽減」の推進を目指します。
- 「放課後児童クラブ」の受け皿拡大、「放課後子ども教室」の拡充を図ります。

福祉・高齢者

お年寄りの安心のために

人生100年時代に対応した、地域包括ケアシステムの更なる機能強化を目指します。

- 医療・介護の連携強化を図るとともに、24時間「いつでも・どこでも・誰でも・どこへでも」対応できる在宅医療・介護の仕組み作りを目指します。
- 障がい者家族の相談業務の充実を図るため「障がい者機関相談支援センター」の機能強化を目指します。
- 中心市街地の移動手段として、「低速電動バス」の実証実験の検証を通じ「高齢者」に優しい交通網の整備を目指します。

観光・農業・商工業

稼げるしばたのために

稼げる「観光のまちしばた」の創造を目指します。

- 外国人観光客誘客事業(DMO)の再構築を図り、阿賀北地域との連携により、本来の「広域観光」の推進を目指します。
- 月岡温泉と市街地の共栄を図り、交流人口の増加を図るとともに、経済活動の推進を目指します。

強い農業の復活・農業所得の向上を目指します。

- 「担い手不足」に対応し、新発田市独自の支援制度の創設を目指します。
- JA北越後をはじめ農業団体等との連携により農業振興策の構築・実行を目指します。

まちづくり・わかもの

人が集い若者が輝くために

新発田地域をはじめ豊浦地域、紫雲寺地域、加治川地域の活性化を目指します。

- 中心市街地の空き店舗を活用した「ライブスペース」、「アートギャラリー」の整備を目指します。
- 「地域における若者リーダー」の育成を図るための支援制度の創設を目指します。
- 新発田市全域の交流の促進を図るため、民間主導による「(仮)新発田まちづくり会社」の設立を目指します。
- 市内各地に無料Wi-Fiスポットを造設します。

小林誠

新発田市長候補
無所属 42歳

【プロフィール】 ○1976年(S51)1月4日 新潟県魚沼市生まれ ○県立六日町高校卒業、日本福祉大学卒業 ○福祉用具のレンタル・販売業に従事
○デイサービス等で実際に介護の現場に携わる ○黒岩たかひろ衆議院議員公設秘書 ○2015年新発田市議会議員選挙にて2526票を獲得し3位当選
○家族:妻、娘(4歳)、愛犬1匹 ○趣味:バーベキュー、サウナ ○好きな言葉:成せば為る